

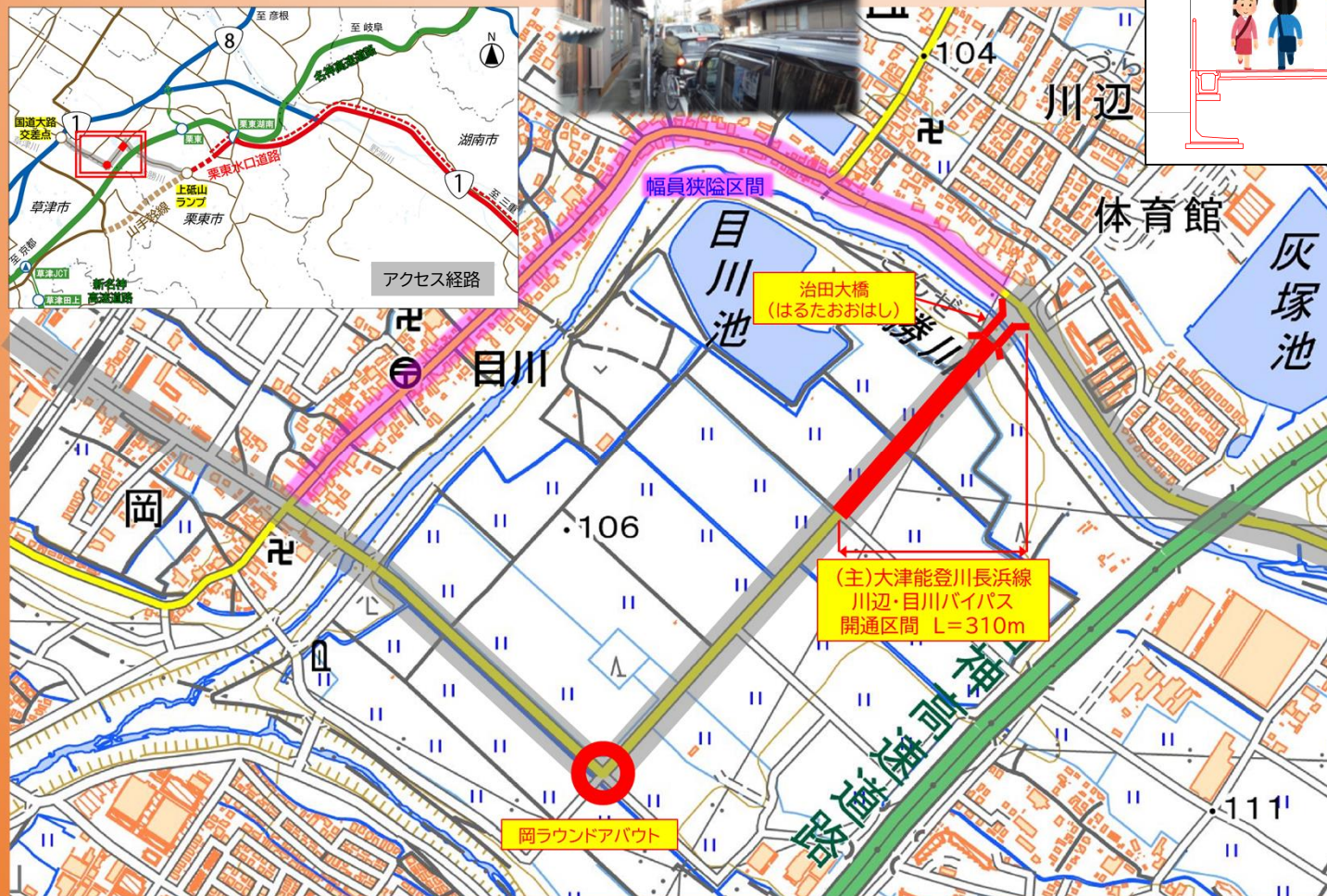
■ 事業目的

現在、湖南地域の県土幹線軸を構成し、国道1号のバイパス機能を有する道路として高規格道路「栗東水口道路」と主要地方道大津能登川長浜線「都市計画道路：山手幹線」を国と県が連携し事業を推進しています。

本事業は、国道1号「国道大路交差点」から「栗東水口道路」・「山手幹線」に接続する上砥山ランプ(栗東市上砥山地区)へのアクセス道路として、新たな道路ネットワークを形成し、栗東市川辺地区や目川地区に存在する幅員狭隘区間を回避するためのバイパス機能を確保するものです。

また、栗東市岡地区では、変則交差点のラウンドアバウト化により、安全で安心な道路としての機能向上を図ります。

■ 平面図



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://maps.gsi.go.jp/#17/35.014309/135.985079/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>)
地理院地図(国土地理院) (<https://maps.gsi.go.jp/#17/35.014309/135.985079/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>) をもとに滋賀県南部土木事務所作成

■ 事業概要【川辺・目川バイパス】

○起点：栗東市川辺(治田大橋交差点)～終点：栗東市目川 延長310m

○事業期間：令和元年度～令和6年度

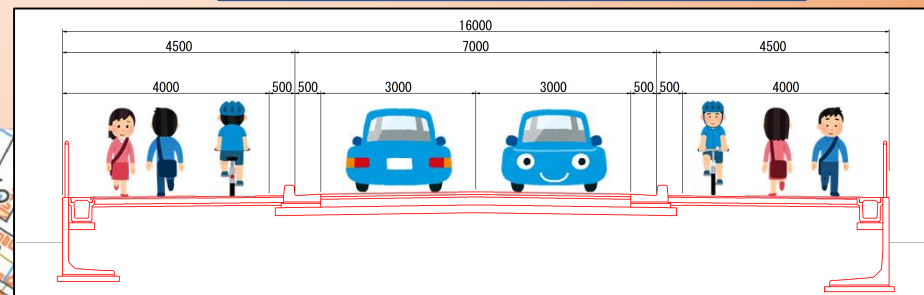
○全体事業費：約14億円

○計画交通量：9,600台/日

○設計速度：50km/h

○車線数：車道2車線(3.0m+3.0m)+両側自転車歩行者道(4.0m+4.0m)

■ 道路横断図【川辺・目川バイパス】



バイパス全景



治田大橋(はるたおおはし)